

高等部「校内実習」「現場実習」に取り組みました

2、3年生は、6月8日（月）から2週間の間、実習に取り組みました。校内実習では、「にこにこビジネスファクトリー」という社名で、学年ごとに、メタル班という作業班を作り、外部の委託作業であるメタルの分別の仕事を中心として、一日作業をする学習に取り組みました。また現場実習では、2年生は実社会に出て働く体験をしました。3年生は卒業後に希望する、それぞれの進路先に合わせた所で実習に取り組みました。普段の学校生活とは違った緊張感の中で、生徒は目標をもって、それぞれ実習に臨みました。実習を経験することで、卒業後の働く生活に向けての意欲や態度、習慣を身につけ、自分の課題を知り、さらに自分を伸ばすきっかけになるよう願っています。



校内実習（メタルの分別作業）



調理場での調理や洗浄



サンドイッチの加工の様子

中学部 職場体験に行ってきました

中学部2年生の2人が7月1日（水）～7月3日（金）までの3日間、北区久米にある Mr.Max 岡山西店で職場体験を実施しました。初めての体験ということで、最初はとても緊張していた二人でしたが、お店のスタッフや一緒に行ったジョブ支援員の方の説明をよく聞きながら、商品の整頓や品出しの作業を頑張りました。

帰ってからの振り返りでは、①緊張しながらも頑張ったこと。②品出しの際に自分で賞味期限を確認しながら、期限の短いものを手前に、長いものを奥に並べたこと。③高い位置にある商品をきちんと整理したこと。④壊れやすい商品を並べる際には特に丁寧に扱ったこと。⑤ずっと立って仕事をしたことなど大変だったことを話してくれました。2人ともこの体験を通して、働くうえでの大切なことや心構えなどを学び、一回り成長したようです。



賞味期限に気をつけたり、商品を取り出しやすいようにしたりしました。

平成 27 年度 岡山西支援学校

自立活動の指導を充実する取り組みをしています！

本校に在籍する児童生徒には、自立をめざして学習したり生活したりするときに直面する困難さがあります。保護者の方々には、家庭や地域生活でお子様が感じている困難さが少しでも軽くなるようにと、様々なご努力を重ねられていることと思います。学校の指導では、この困難さの軽減に関するものとして「自立活動」と呼ばれる指導があります。個人懇談などで、担任から個別の指導計画の説明を聞かれていると思いますが、この個別指導計画の説明のなかに「生活」「国語」などの授業の枠組みと同じ並びの中に、「自立活動」という枠組みがあります。

自立活動は、児童生徒一人一人が直面するこの困難さを、少しでも改善・克服できるように手助けする指導です。私たち教員は、この自立活動のことを支援学校の指導の中でも、児童生徒一人一人が「生きる力」を付ける上で、とても重要なものと考えています。

今年度の岡山西支援学校では、この自立活動の指導について、岡山県が推進する「自立活動指導力向上事業」という事業を引き受け、自立活動に関して教師の指導力が向上するように、学校をあげて様々な取り組みをすることにしています。事業計画の概要は次のようなものです。

I 教師の自立活動指導力向上に関する活動

- 1 全国で開催されている自立活動に関する研修会等への参加
- 2 自校における自立活動に関する研修会の開催
- 3 教材・教具、チェックシート等の開発
- 4 自立活動の指導者（ミドルリーダー）養成
- 5 自立活動の指導に関する研究授業の実施と検討

II 自立活動に特化した個別指導計画の作成及び実践

- 1 作成に関する背景
 - ・ 岡山県全体で自立活動の指導力向上が求められていること
 - ・ 特別支援学校で指導の基本となる個のニーズに応じた指導の充実が求められていること
 - ・ 向上事業との関連
- 2 作成の目的
 - ・ 「個のニーズ」を的確に捉えることの必要性（実態把握）
 - ・ 「個のニーズ」に応じた指導内容構築の必要性（指導内容）
 - ・ 構築された指導内容の効果的な実践及び評価のあり方の検討
(実践力向上)